

授業概要

- ・保育士に求められる相談援助について説明する。
- ・相談援助としてのソーシャルワークの概要、方法、技術、具体的展開を解説する。
- ・事例を用いるなど、保育におけるソーシャルワークの活用と対象者へのアプローチを具体的に理解できるように講義する。

授業計画

第 1 回	保育に相談援助が必要となる背景
第 2 回	保育とソーシャルワーク ～相談援助とソーシャルワーク～
第 3 回	相談援助の意義、機能
第 4 回	相談援助の対象、過程
第 5 回	相談援助の技術・アプローチ（1）個人・家族への支援
第 6 回	相談援助の技術・アプローチ（2）グループ、地域への支援 ～ミニ・レポート～
第 7 回	相談援助の具体的展開（1） 計画・記録・評価
第 8 回	相談援助の具体的展開（2） 関係機関との協働
第 9 回	相談援助の具体的展開（3） 多様な専門職との連携
第 10 回	相談援助の具体的展開（4） 社会資源とは？ ～社会資源にかかわるミニ・レポート
第 11 回	相談援助の具体的展開（5） 社会資源の活用、調整、開発
第 12 回	事例を通して理解を深める ～虐待への対応～
第 13 回	事例を通して理解を深める ～虐待を予防するには？～
第 14 回	事例を通して理解を深める ～障害のある子どもと保護者への支援～
第 15 回	事例を通して理解を深める ～ロールプレイを行ってみる～
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・子育てに不安を抱えていたり、虐待の可能性がある等、保護者への対応の必要性について理解する
- ・相談援助の方法、技術としてのソーシャルワークについて理解する
- ・保育士として具体的にどのように相談援助を活用するかについて理解する

履修上の注意

- ・『社会福祉』で学んだ内容をふまえて授業に臨んで下さい。
- ・児童だけではなく、その保護者への対応について関心を持って授業に臨んで下さい。
- ・授業中に個別または挙手にて意見をきくこともあるので、心積もりをして授業に臨んで下さい。
- ・ロールプレイを予定しているので、積極的に臨んで下さい。

予習・復習

予習の範囲をあらかじめ示しておくので、テキストの該当箇所を読んで、授業に臨んで下さい。
 復習についても毎回の授業で具体的に示しておくので、各自で取り組んで下さい。

評価方法

筆記試験（50%）、ミニレポート2回分（30%）、授業で配布するレスポンス・ペーパーの内容（20%）

テキスト

【テキスト】
 小林育子・小館静枝・日高洋子(2018)『保育者のための相談援助』萌文書林 ISBN:978-4-89347-302-8
 上記のテキストの他、適宜資料を授業内で配布する。